

発 議 第 6 号  
令和8年9月1日提出

大牟田市議会  
議長 徳永 春男 殿

|     |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|---|
| 提出者 | 中 | 原 | 誠 | 悟 |
|     | 森 | 田 | 義 | 孝 |
|     | 大 | 野 | 哲 | 也 |
|     | 北 | 岡 | あ | や |
|     | 桑 | 原 |   | 誠 |
|     | 崎 | 山 | 恵 | 子 |
|     | 山 | 田 | 貴 | 正 |

福岡県の海外旅費等支給の全容解明と  
政治倫理の確立を求める意見書案

上記の意見書案を別紙のとおり会議規則第13条の規定により提出  
します。

## 福岡県の海外旅費等支給の全容解明と政治倫理の確立を求める意見書

昨今、地方自治体の公費使途に対し、県民の厳しい監視の目が注がれています。

福岡県や福岡県議会が実施する海外活動・視察研修等について、一部の事業において多額の公金が支出されているとの報道は、県民に大きな衝撃を与えました。さらには、講演会に係る高額な謝礼金等の問題も浮上してきました。

これらの公金の支出に対して、費用対効果や使途の不透明性を疑問視する声が県民の中で高まる中、知事は、海外視察に関する第三者委員会を設置するとともに、ワンヘルス関連施策の必要性や妥当性についても行政改革審議会に諮問を行い、検証を進める方針を明らかにしました。

本市では、大牟田市動物園が県のワンヘルス啓発施設としての認定を受け、県と連携・協力しながら、人と動物の健康及び環境の健全性を守り、次世代に継承していく取組を進めていますが、県政への信頼が揺らいだことで、今後の影響が危惧されます。

さらに、県職員の部課長会による正副議長の政治資金パーティー券購入等を巡る問題など、行政当局と、これを監視する議会という二代表制の下での関係についても問題となっています。

本市議会としては、このような県行政及び県議会のありようは、県民からの信頼を大きく損なうもので、決して看過できるものではありません。

よって、福岡県においては、この深刻な状況を重く受け止め、県民に対して説明責任を果たし、信頼回復を図るために、下記の事項を速やかに履行するよう強く求めます。

### 記

1. 第三者委員会の調査に全面的に協力するとともに、検証結果を速やかに公開すること。また、検証結果に基づいた厳正な改善措置を講じ、海外活動・視察研修等については、県民が納得できる明確な実施基準と支出の妥当性を明らかにすること。あわせて、成果報告書の情報公開を徹底すること。
2. 過去に実施された海外活動・視察研修等について、旅費規程など諸例規の解釈を逸脱し、不適正に支出されたと判断される旅費については、県民の納得が得られるよう、速やかな返還を求めること。
3. ワンヘルス政策については、その必要性や妥当性を速やかに検証するとともに、ワンヘルス政策に関する疑念を払拭し、県民の理解が得られるよう説明責任を果たすこと。
4. 県議会との関係において、あしき慣習や慣行を即刻廃止し、二代表制の原則に立ち返った厳正かつ対等な緊張関係を再構築すること。
5. 県民の信頼を回復し、県民から疑念を抱かれない政治倫理を確立するため、政治倫理条例を制定すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和8年9月1日

大牟田市議会